

保存版



# ペットのための日頃の備え

ペットと一緒に避難する場合に持参する物  
いつでも持ち出せるようになっていませんか？確認しましょう

フードと水（5日～7日分）

療法食、薬（災害時には入手困難になります）

使い慣れているキャリー、ケージ

予備の首輪、リード（伸びないもの）

食器

ガムテープ（ケージの補修など多用途に使用可能）

飼い主の連絡先・ペットに関する緊急連絡先・預かり先などの情報

ペットの写真（携帯電話に画像を保存することも有効）

ワクチン接種状況、既往症、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報

トイレ用品（ペットシート、猫の場合はトイレ砂）

猫の場合には洗濯ネット（身柄の確保、搬送用等に使えます）

災害時にすぐに持ち出せるように  
平時から準備しておくことが大切です



ペット用備蓄品（犬用）の例



ペット用備蓄品（猫用）の例

参考：環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」

## 災害に備えた大切なしつけ

### ケージ・キャリーに入ることに慣れさせてください

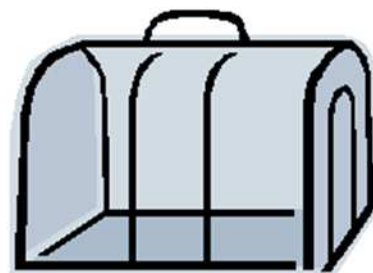
避難時は路上にガラス等が散乱していることがあるため、ペットはケージ・キャリーでの避難が安全です。

避難拠点では、ペットはケージ・キャリーの中で生活することが多くなります。

日頃から、好物のおやつをケージ・キャリーの中で与えて、ペットの「お気に入りの場所」にしておくことが大切です。

避難生活はペットにとっても大きなストレスです。日頃から入り慣れているケージ・キャリーの中が一番安心できる場所です。**避難のときは、ペットの安心のため、普段使っているケージ・キャリーを持参してください。**

中・大型犬用のケージは避難時に持ち出すのではなく、いったん避難した後、安全を確認した上で取りに戻る方法も考えられます。



## 身元表示 ～ 迷子にならないように～

過去の災害では、混乱の中でペットが逃げ出してしまう事例が多発しました。ペットとはぐれても再会できるよう、日頃からペットには必ず身元表示を付けてください。

犬：鑑札・注射済票<sup>1</sup>、マイクロチップ<sup>2</sup>

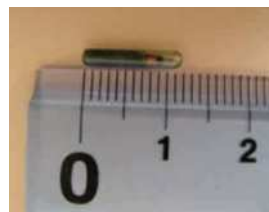
猫：迷子札、マイクロチップ<sup>2</sup>



犬鑑札



注射済票  
(年度ごとに色は変わります)



マイクロチップ

- 1 犬は生涯1回の登録と、年に1回の狂犬病予防注射が、法律上の義務となっています。登録をすると犬鑑札が、狂犬病予防注射接種の届出をすると注射済票が、交付されます。
- 2 マイクロチップは、首の後ろの皮下に専用注射器で挿入します。ペットの健康には影響ありません。固有番号が記録されており、専用リーダーで読み取ることで半永久的に個体識別ができます。(ただし住所の変更等の届出は必要です) 詳しくはお近くの動物病院へ。

練馬区 健康部 生活衛生課 電話 5 9 8 4 - 2 4 8 3